

ガバナー公式訪問



本日のご来賓紹介

地区ガバナー 志賀 利彦 様
地区幹事 蛭田 修二 様
分区ガバナー補佐 佐藤 宗弘 様
分区幹事 佐藤 卓立 様
分区幹事 黒澤 信之 様



大藤務会員に大臣感謝状

厚生支援に尽力した県卓球協会副会長の大藤会員が、法務大臣感謝状を受賞されました。皆様に報告致します。

ニコニコ BOX

ここにニコ BOX 小委員長 根本 和志

黒澤信之様、佐藤卓立様(福島西)、菅野守芳会員、阿部佳文会員、齋藤敏夫会員、秋山和久会員、渡辺正弘会員、飯田美恵子会員、根本和志会員、善方邦雄会員、安部敏弘会員、佐藤壮一郎会員、鈴木裕子会員、橋本哲弥会員、菅野秀夫会員、金田君子会員、宍戸光英会員、根本和行会員

*米山記念寄与者…鈴木裕子会員、齋藤敏夫会員、佐藤壮一郎会員、根本和行会員
*ロータリー財団…善方邦雄会員、阿部佳文会員、渡辺正弘会員、佐藤壮一郎会員

◇皆様の善意に感謝致します。ありがとうございました。

出席委員会 小委員長 根本 和志

会員数	本日出席	出席率	メイクアップ	修正率
35名	21名	60%	14名	100%

ニコニコ BOX

目標額	550,000円
小計	22,000円
累計	81,000円



二本松あだたらロータリークラブ
週報 第5号

通算/第1289回 令和3年8月5日 会場/二本松商工会議所



SERVE TO CHANGE LIVES

2021-2022年度
国際ロータリーのテーマ

会長 阿部 佳文 副会長 善方 邦雄 クラブ会報 太田 恭寿
会長エレクト 藤井 利則 幹事 菅野 守芳

会長あいさつ



会長 阿部 佳文

はじめに、ガバナー公式訪問のご来賓の紹介を致します。

RI2530 地区ガバナー

志賀利彦 様
地区幹事 蛭田修二 様
県北第一分区ガバナー補佐 佐藤宗弘 様
分区幹事 佐藤卓立 様
分区幹事 黒澤信之 様

本日は宜しくお願い致します。

さて、あだたらロータリークラブからインドネシアの子供たちの奨学金に対しての報告の手紙をエディザルさんより届きました。

内容は、7月初旬に奨学金を渡したとのことです。フォスターチルドレンは

小学3年のリニ・オクタビアさん
小6のアキル・シャフィク君、
中3のケイシャ・エシラさん
高校2年のアントン・アフリ・ラーマン君の

4人です。

インドネシアはアジアでのコロナ流行の中心となっており大変な状況になっているとのことです。またコロナ禍のなかで対面授業はあまり出来ておらず、しかし、みんなは元気に勉強をしているようです。

ロータリークラブの皆さんに新型コロナウイルスにかかりませんように、くれぐれも気を付けて下さいとの報告がありました。

また、7月31日に2021-22年度米山記念奨学生による体験発表会がZOOMで行われました、19名の米山奨学生の発表があり発表テーマは様々でそれぞれが個性的な内容でした。コロナ禍で大変に厳しい状況の中での奨学金の有難さや、カウンセラーの存在の大きさに感謝の声がありました。学友のメンバーも日本に残って働いている人も多くいるようですので、留学生への取り組みはこれからも大事な事業だと思えます。今回はZOOMでしたが、直接奨学生の顔を見ての大会になることを祈っております、その時は多くのあだたらロータリー会員で参加をしたいと思えます。

本日のプログラム

ガバナー公式訪問

8月のプログラム

第1289回例会：8月5日(木) / ガバナー公式訪問

8月12日(木) / 休会

第1290回例会：8月19日(木) / 納涼会

第1291回例会：8月26日(木) / ガバナー補佐訪問

幹事報告

特別休会のお知らせ

新型コロナウイルス感染者数が激増に付き休会と致します。

- ◆8月12日(木) 休会
- ◆8月19日(木) 夜間移動例会 / 中止
- ◆8月26日(木) 中止

●国際ロータリークラブ会長
シェカール・メータ(インド)

●国際ロータリー第2530地区ガバナー
志賀 利彦 (いわき小名浜ロータリークラブ)

●県北第一分区ガバナー補佐
佐藤 宗弘 (福島西ロータリークラブ)

四つのテスト
言行はこれに照らしてから
一、真実かどうか
二、みんなに公平か
三、好意と友情を深めるか
四、みんなの為になるかどうか

創 立 1993.6.30
承 認 1993.9.10
認証状伝達式 1993.11.8
地 区 番 号 2530
ク ラ ブ 番 号 29750
例 会 日 毎週木曜日(12:30~13:30)

例 会 場 二本松商工会議所
事 務 局 〒964-8577
福島県二本松市本町 1-60-1
二本松商工会議所
Tel0243-23-3211
Fax0243-23-6677



ガバナー公式訪問スピーチ

RI第2530地区ガバナー 志賀 利彦

皆様、改めましてこんにちは・・・

私はいわき小名浜ロータリークラブ所属でございます。生年月日は1947年、昭和22年7月10日一昨日誕生日を迎えお陰様で74才になりました。RIシェカール・メータさんの「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」という題を頂きました。私といしましては非常に近年になく分かりやすい、ストレートな、また感動を感じる言葉だと感じます。豊かということは大事です。「豊か」が故に人に奉仕することもできると思うんです。自分の豊かさがなくて、人にできないと私は思っています。そしてロータリーには「ロータリーの力と魔法」というテーマで地区大会に臨みたいと思っております。

この言葉は、シェカール・メータさんの詩の中の一節を使わせて頂きました。是非地区大会、リアルでやりたいと思いますので、是非お出で頂きたいと思っております。宜しくお願いします。

今日は志賀利彦という人間を知ってもらいたくてお話ししよう、自分で決めて来ました。私の父の名前は志賀誠二郎と言います。父は農家の次男坊で生まれまして、農業を継ぎたいという気持ちは多々あったようですが、当時の日本の制度の中では農家を分けてあげることはできないので、外に出さないということで代用教員という道を選んだそうです。そして福島を皮切りに郡山・会津・いわき等々に転勤したそうです。会津で今は亡き母と結婚し、現在私がいるということ。それをずっと続いていけば良かったんですが、当時は父親も教員という道のある一時おきながら、開拓者として働いてみたいということで、いわき市の山の中で果樹園をやっていました。私どもが成長すると共に教育のことを考えて町に出ようということで、職を変えて電気工事関係の仕事をして頂きました。電気工事関係といっても、まだ一般家庭には電気が出始めたかということで、コンセント一つもない時代でした。そんな中で工事をしたので、本当に周りの人と助け合って、一家を養っていました。父が56才、私が26才の時に胃癌の再発で亡くなりました。

私は父の仕事を受け継ごうという意志に立ちました。ところが父の仕事は、午前中には仕事が終わっちゃうんですね。色々つつてを頼って、父が若い頃活動したのが会津に母親の実家があり、当時は出稼ぎで日立製作所に入れてあげたそうです。それで日立との付き合いがありまして、日立製作所に仕事を頂きに行きまして。日立製作所には私の兄が勤めておりましたので、口利きで流せて頂きました。私の得意なのは、事変電設備と申しまして、家庭用の100Vや200V 鉄塔を想像してみてください。鉄塔から電気を受けて、100V・200Vの電気に変換します。そういうのをやっている企業です。お陰様で順調に進んで参ったわけですが、若い頃は色々私も野心がございまして、変な出会いで日立製作所OBの方から「茨城県の筑波秀英学園が開校するのに300名ぐらい生徒を採用しようとしたところ、800数名を採用して教室が埋まってしまったので、すぐに増築しなくてはならない」と声が掛かりました。その学校の開校式直前に出会いがありました。先生と生徒のやり取りを見ていて、私もこれは造ってみたいなどお話をしまして、そこの理事長が「志賀さん、やるんだったら応援してもいいよ」と言われました。私を紹介した人間のお兄さんが事務局をやっていて、向こうの理事長さんが「良ければあなたの所に出してもいい」と言われ、学校を造ろうと専念しました。ところが私も県にお願いに行ったら、それは1995年頃の話ですが、とんでもないという状況で迎えられました。しかし150回近く県庁に通い、最後にはとうとう理解して頂いて5年の月日が経ちました。

そんなことで開校することが出来ましたが、学校を造るのに2年間かかりまして、なぜ私は造るんだと言った時に、いわきの実情を見た時に、いわきには立派な県立高校が一杯ございますが、その中でも私立高校というのは落ちた者が行く所だという程度であるし、当時福島県としては学ぶという指数から言うと、47都道府県中、下から2～3番という順位がずっと続きました。それが何年も続きました。

それで造ろうという風に自分もなって来たんです。お陰様で今は県内でも私立高校としての位置づけはなんとか進んで来まして、2年連続して東大に進学させたことが出来たことは私も誇りに思っております。

進学率は私は県内一ではないかと自負しております。私は教壇に立つ資格はありません。

私は高卒であります。

ロータリーの友に、「あなたは子どもの頃は何になりたかった？」と聞かれたら、「早く働きたい。父親を楽にしたいから」と答えています。私の子どもの頃は1億総生活が苦しかったように思います。働いて父親を楽をさせたいというのは、子ども心にずっと覚えています。小学5年生の時からアルバイトをしていました。最初にやったのは草むしりです。

そこからスタートして高校の時にはバイクで牛乳配達をやって、親から1円もお金を貰わず卒業しました。そのくらい働くことに意義があると頑張っ参りました。体力も私はまだまだあるつもりですので、今日一番伝えなかったのは、この色々な経験したことを実としてこれからのロータリー活動に使いながら、少しでも前向きに良い方向に進めたいと考えてございます。私もそうやってもなかなかメーカーそのものも3回ぐらいしかありません。

本当に勉強をしなかった不真面目者でございます。ここ2～3年は随分人間が変わりました。ロータリーの見目も変わりましたと、自負しております。

やはり気づきが大切だと思っております。やはり気遣いが大切だと思っております。

こういう人間ですが、1年間どうぞお付き合いのほどよろしくお願ひいたします。



ガバナー補佐挨拶 佐藤 宗弘 様(福島西 RC)

昨年度は RI テーマ、ロータリーは機会の扉を開くでしたが、本年度は、開かれた扉の向こうに駆け出して、みんなの人生を幸せのために奉仕の理念の実践に皆さんと一緒に取り組んでいきたい。

ワクチン接種が進んでいますが、今だコロナ感染拡大が続いております。そのような中、可能な限りロータリー活動を推進して参ります。皆さん1年間のご協力をお願い致します。